

3 家庭で学べる動画教材

ネットトラブルの予防には、まずはどんなトラブルがあるかを知ることが第一です。
実際のトラブルをもとに作成された動画を無料で視聴することができます。親子で学ぶ動画教材です。



情報化社会の新たな 問題を考えるための教材

※教員が授業で活用するために作成
された動画教材(文部科学省)



疑似体験アプリ スマホにひそむ危険

(デジタルアーツ)



情報モラル映像教材

(愛媛県警察)
実例をもとに制作



情報モラル学習教材

(ITサポートさが)
小学低学年～高校生



【 学習のポイント 】

1

トラブルの事例を 知ること!

ネットトラブルの実例を見なが
ら、危険な面を知り、何がダメなの
か、どうしたら防げるか親子で考
えましょう。

2

“うちの子は大丈夫!” と思わないこと

友だちから個人情報が漏れたり、
何気ない画像で場所を特定でき
たり、自分でどんなに注意してい
てもトラブルに巻き込まれること
があります。

3

頭ごなしの ダメは無意味

なぜダメなのか、子どもに理解で
きる言葉で、しっかりと理由を伝
え、納得させることが重要です。

4 困った時の相談窓口

佐賀県情報課
**佐賀県ネットトラブル
相談窓口**

☎0120-060-797

(平日9時～18時)
help@saga-soudan.net
LINE ID: @sagasoudan



NPO法人チャイルドライン
支援センター

チャイルドライン
☎0120-99-7777

(平日16時～21時)
https://childline.or.jp/
18歳までの子どもがかかる専用窓口です。
電話やチャット(指定日のみ)で受付



佐賀県教育委員会
心のテレホン相談
☎0952-30-4989

(365日24時間受付)
小中高校生及び保護者のための
電話相談窓口です。

佐賀県教育委員会
いじめホットライン
☎0952-27-0051

(365日24時間受付)
小中高校生及び保護者のための
いじめに関する電話相談窓口です。

NPO法人ITサポートさが
**ほっとネットライン
相談窓口**

☎0120-797-100

(平日9時～18時)
help@it-saga.net
LINE ID: @hotnetline



佐賀県警察少年サポートセンター
ヤングテレホン

☎0120-29-7867

(平日8時30分～17時15分)

警察相談電話 #9110

(24時間)

制作協力: NPO法人ITサポートさが

子どもの

その使い方、 本当に大丈夫?

情報化社会を生き抜く子どもを育てるために

ゲームや動画視聴が
止められない...

ゲーム、動画の視聴が止
められないのは当然です。
その道のプロ集団が、長時間飽
きずに利用したくなるように制作していま
す。それを簡単に止めることは、子どもに
は難しいことです。タイマー機能を使
用したり、声かけや「ルールを守
る」手助けが必要です。



変な人となつながらないか
心配...

「未知の人となつがりたい」
「異性に興味を持つ」のは健全な成長の証
です。フィルタリングを利用す
るなど、見守りや予防策を
折り込んだルール作り
がポイントです。



犯罪誘惑

リベンジポルノ

ネットいじめ

ストーカー被害

成績の低下

課金トラブル

アダルトサイト

著作権侵害

心身への影響

デジタルタトゥー

フィルタリングって
言われるけど、
実際はどうやるのか...

ルールが
なかなか守れない、
どうしたら良いの?

個人情報公開

なりすまし被害



1 成長に応じたネット利用のステップ

インターネットの利用については、子どもの成長にあわせて段階的に学ぶ必要があります。発達段階に応じた機器の使い方や、安全なネットの利用について家族で話し合しましょう。学年はあくまで目安です。Step1から順にステップアップしていきましょう。ネットを安全に使うための知識・能力を身に付け自己管理できる子どもに育てましょう。

Step1 小学1～2年

約束守ります!

- 使用環境**
 - 大人の許可を得てから大人の近くで使う
 - 1回の使用時間は短めに(30分程度)
- アプリ・SNS利用**
 - 保護者が設定したゲーム、アプリ、動画のみ利用する
 - 動画はYouTube Kidsで視聴する
- ネットリテラシー**
 - スマホやタブレットは大切に扱う
 - 大人のスマホは勝手に触らない
 - むやみに動画のまねをしない
 - 何か変だったらすぐに大人に話す
- ルールのポイント**
 - 時間を決める 分したら休憩
 - 使う場所やマナーは具体的にリビングで使う
 - 話しかけられたら手を止めて返事をする など

Step2 小学3～4年

わからないことは相談します

- 使用環境**
 - 大人の姿が見える範囲で使う
 - 生活リズムに合わせた1日の利用時間を決める
- アプリ・SNS利用**
 - ゲームやアプリの年齢制限を確認し、保護者が許可したもののみ利用する
 - 動画はYouTube Kidsで視聴する
 - 家族や親族とのやり取りを親子で体験する
- ネットリテラシー**
 - ネットにはウソの情報もある
 - ゲームのユーザー名に本名は使わない
 - 著作権のことを学び、違法なことはしない
 - わからない時や困った時は中断し、大人に聞く(わからないまま進まない)
- ルールのポイント**
 - 1日の利用時間を決める 1日 時間まで、休みの日は 時間 など
 - 優先順位について話し合って決める 宿題や を先にやる など

Step3 小学5～6年

相手の気持ちを考えます

- 使用環境**
 - 夜の自室持ち込みはしない
 - 友達の家など自宅以外での使用は保護者の許可を得る
- アプリ・SNS利用**
 - ゲームやアプリの内容や対象年齢を親子でチェックして、インストールは保護者が行う
 - 検索する時は、子ども向けサイト(Yahoo!きっず・YouTube Kids)を利用する(保護者は履歴を確認する)
 - SNSに興味を持ち始めたら、家族や親族と使い方の練習をする(文章や写真・スタンプなど)
- ネットリテラシー**
 - 個人情報とは何かを理解し、家族や友人の個人情報の流出にも気をつける
 - 写真や動画の撮影について学ぶ
 - 裸や下着姿の撮影は絶対にしない
 - 児童ポルノ法違反(製造罪)です。自画撮りも該当します。
 - 相手に無断で撮影しない(肖像権の侵害)
- ルールのポイント**
 - 利用時間や就寝時間について決める
 - 個人情報の禁止事項は具体的に決める 本名や住所、学校名、顔写真は出さない など
 - ルールを破った時のペナルティも決めておく

Step4 中学生

よく考えてから行動します

- 使用環境**
 - スマホにはフィルタリングを設定して使用する
 - 使用する時間や時間帯を考え、心と体の健康維持に努める
 - 保護者は使用状況を定期的にチェックして見守る
- アプリ・SNS利用**
 - ゲームやアプリは有料無料を問わず、親子で内容確認後、インストールやダウンロードを行う
 - アプリやサイトの「ユーザー登録」は親子でその内容や利用規約、解約方法を確認後、利用する
 - SNSのやり取りは顔見知りの相手だけに限定する
 - 自分や友人の個人情報・写真の公開はしない
- ネットリテラシー**
 - 情報の信ぴょう性を見極める
 - ネット上での情報発信には責任が発生することを自覚して、投稿前に一度立ち止まり再確認する
 - 非対面では真意が伝わりにくく誤解が生じ易い
 - ネットに発信した情報を完全に抹消するのは困難である
 - ネットに匿名性はない
- ルールのポイント**
 - 保護者の定期的な見守り(チェックなど)を実施
 - ネットでの金銭のやり取りに関すること(毎月の限度額、購入先、履歴のチェックなど)

※学年はあくまでも目安です。子どもの成長・理解度に合わせて参考にしてください。

2 子どもを守るために保護者がやるべきこと

「青少年インターネット環境整備法」では、保護者は利用の管理、監視を行い、使い方を教える努力をすることとなっています。スマホやゲーム機は保護者の所有物で、子どもに「貸している」という意識が大切です。

保護者は、子どもが利用するスマホ(ドコモ・au・ソフトバンク)に「あんしんフィルター」の設定義務があります。Wi-Fi通信時には各端末にフィルタリングを設定しましょう。

フィルタリングでできること

- 不適切なサイトのブロック
- 利用するアプリやコンテンツの制限
- 利用時間の管理
- 利用状況の通知
- 課金、支払いの制限
- 居場所の確認 など

端末本体の設定や専用アプリを使用したり、Webサービスを利用するなど様々な方法があります。目的に合ったものを複数組み合わせる事もできます。

子どもが安全に利用できるようフィルタリングを施し、端末の管理や利用状況のチェックなどを行いながら見守っていきましょう。

Android版

Google
ファミリーリンクの
利用



iPhone版

端末の
スクリーンタイム機能の
設定
(docomoのページ)



ゲーム機

ゲーム機にも保護者が管理できる機能「ペアレンタルコントロール」があり、各社のホームページに詳しく掲載されています。

PlayStation4



ニンテンドー3DSやWii U



★おすすめ★

任天堂Switch専用
「みまもりSWITCH」アプリ



購入やアプリのダウンロード制限



各社から提供されているソフトやアプリには、内容によって適切な対象年齢が設定されています。(図1) 法的な規制ではありませんが、安全に楽しく遊ぶための基準です。また、ゲームソフトにも、対象年齢を示す「CEROレーティングマーク」(図2)が設定されています。インストールや購入時には保護者が確認しましょう。

<端末での制限>

- Android版: Google Play→左上のオプション→設定→「保護者による使用制限」で設定 ※PIN=暗証番号
- iPhone版: 設定→スクリーンタイム→コンテンツとプライバシーの制限→コンテンツの制限

支払いの管理(パスワードの設定)



課金や代金の支払い時に、常に認証を必要とする設定にしておくことで、トラブルを防ぐことができます。もちろん、パスワードは子どもに教えない、見破られないことが重要です。

- Android版: Google Play→左上のオプション→設定→「購入時には認証を必要とする」で常に認証が必要と設定
- iPhone版: 設定→スクリーンタイム→コンテンツとプライバシーの制限→「iTunesおよびApp Storeでの購入」で設定

図1 12+ 12歳以上のこと
16+ 16歳以上のこと

図2 CERO B (12才以上対象) CERO C (15才以上対象) CERO D (17才以上対象)
対象年齢を表示

かわいい我が子の人生を守ります!

